

シグマ研究・専門委員会幹事会議事録

日 時： 49年4月19日(金) 13:30~17:30

場 所： 原研東海研研2棟222号室

出席者： 百田，塚田，中嶋，飯島，西村，大竹，更田，五十嵐

議事に先立って，核データ研究室長が西村氏から更田氏に交代した事に伴って，以後の委員会運営に関する諸手配は更田氏を通して行われる事を確認した。

1) シグマ専門委員会の主査の選出法と委員会の性格に関する検討特別委員会からの答申案について討論があった。主な事項は次の通り。

(i) 「幹事を主査が指命する」ことは研究委員会幹事との関係上妥当かどうか。

(ii) 「委員会の性格論議を主査の選出後に行う」ことは特別委員会に依頼された提案内容に反する答申である。

特別委員会では，主査の選出後性格論議に入った時に特別委員会内の討議を紹介する考えであったが，上記第二点の順序が本委員会でくつがえった場合のことを考慮して，委員会の性格討議のたたき台をさらに検討するため5月8日午前に特別委員会を開くことになった。

2) E A N D C 第 17 回報告

無事に終わったことの報告と謝辞を世話人会に発送した。今回は特に E A N D C の性格論議が活発であった。次回は Harwell で来年4月7日から開かれる。

3) J E N D L ad hoc 委員会

これまでに2回会合を持ち，作業の具体的イメージを作るため作業内容の検討を行った。次回は5月8日に開く。

4) P N C との交渉経過

4月19日(本日) P N C，苔米地，小林，川島の3氏と塚田，更田，矢野，大杉の4氏が会合し，委託に関する第一回の正式交渉を行った。

提案として Am の 1 keV ~ 1.5 MeV の断面積の評価を挙げ、結果の公開性について質疑を交した。この件については吉米地氏が PNC に問題を持ち帰って検討することになった。開示制限については原研と PNC 間に基本契約があるので、かなりむづかしいかもしれないとの事であった。PNC 側の予算は 700 万円である。JENDL に関する契約ではないが、JENDL 作成のスケジュールを教えて欲しい旨の申し入れがあった。これは PNC 内での説明資料にしたいためである。

以上の報告について以下のような質問があった。

(I) 契約文書交換前に委員会に見せてもらえるか。

→ そうしたいが、時間の関係でどうなるか不明。

(II) JENDL との契約ではないことを確認したか。

→ JENDL の文字は一切載せないことに同意している。契約は単年度になる。

(III) 無条件公開について、外国との間でも国内と同様に考えて良いか。

→ 国内と同様であろう。但し、公開に関しては未確定なので、条件公開になることもある。その際の許容条件は報告書提出後 2 ~ 3 ヶ月後が望ましいと考えている。

上記の (II) および「報告書提出以後 6 ヶ月以内に公開」の条件が守れば委員会の事前了承が無くてもよいだろうということになった。

5) INDC の次期委員

INDC 委員の任期は 3 年で、今回その時期に来ている。適当な人と交代したい旨西村氏から発言があった。(これをめぐって、委員会の性格づけやら何やら議論があった後) 交代は出来るだけ早く行うことを確認し、次回委員会で検討することになった。尚、次回 INDC は本年 10 月オーストラリアで開かれる。旅費は自己負担になるらしい。

6) Fusion 関係

50 年度予算に 1,000 万円を計上したい。本年度は委員会内に W.G.

を置いてデータ収集を始めたい旨、塚田氏から発言があった。Fusion data については現在ある計算コードだけでは不十分であるのでコードの整備にも力を入れる必要があることを指適された。

7) Decay Heat 関係

燃料計量核データ専門部会からは、Decay Heat W.G.を同専門部会内に持つことは適当でない旨、回答*があったが、提案の主旨は現在の専門部会員がDecay Heatまで担当するのではなく、W.G.だけを専門部会傘下に置き、メンバーは別の人達も含めて構成すると言うことであった。中嶋氏は核データ専門部会のFFP W.G.に置く案も考えているとの事であるが、この問題は核データ研の中でもっと議論する必要があるので、研究室案を出すことになった。

8) 本委員会議題

5月9日に本委員会を開く。その議題として、本日提示された事項に加えて、

- (1) Fusion W.G. の結成推進について
 - (2) Decay Heat W.G. の結成について
 - (3) Washington Conf. のアナウンス
 - (4) 49年度実行計画
 - (5) 50年度概算要求
- などを挙げた。

9) Specialist meeting on nuclear data

level scheme and decay data に関する specialist meeting に関し、西村氏から J. J. Schmidt への返事のコピーが示され、内容、字句の検討を行った。

10) 核データ研の移転について

研究2棟の2階の居室を3階に移す旨報告があった。

追 記

* 燃料計量核データ専門部会長からの連絡によれば、その後同専門部会
内に Decay Heat W. G. をもうけることが了承されたとのことである。